



松浦武四郎記念碑除幕式 5/12

道アイヌ協会新ひだか支部(大川勝支部長)は、幕末から明治時代の蝦夷地探険家・松浦武四郎とアイヌ民族が築いた絆の歴史を多くの人に知ってもらおうと、シャクシャイン記念館(静内真歌)前に記念碑を建立し、除幕式を行いました。

武四郎は、現在の三重県松坂市に生まれ、1845年から58年にかけて蝦夷地を探索し、静内地方にも3度訪れ、アイヌ民族との交流を深めました。除幕式には約100人が出席し、アイヌ民族の聖なる地である真歌の丘で武四郎の功績をたたえました。



第49回しずない桜まつり 5/6~13

『第49回しずない桜まつり』が二十間道路桜並木で開かれ、期間中9万800人の観客客が会場を訪れました。

今年は開花が5日、満開が7日となり、桜まつり期間中に見頃を迎えましたが、前半は雨模様の天候が続き、桜の花も早めに散り始めました。

桜まつり期間中、訪れた家族連れなどは、桜の下を散歩したり、写真を撮ったり、思い思いに美しく咲き誇る二十間道路の桜を満喫していました。



桜舞サッカーフェスティバル 5/5-6

『第15回静内ロータリークラブ・日高信用金庫杯桜舞サッカーフェスティバル』が、静内川左岸緑地公園サッカー場で開かれ、日高管内や札幌、苫小牧などの少年団24チームが熱戦を繰り広げました。

町内から参加した高静サッカースポーツ少年団は決勝戦まで進み、札幌澄川JFKと対戦。試合は後半終了5分ほど前まで2-0で澄川がリードしていましたが、その後、高静が連続3得点を挙げ、逆転する見事なプレーで優勝を飾りました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



第7回ヴィクトリアマイル制覇 5/13

春の古馬女王決定戦『第7回ヴィクトリアマイル(GI)』で、千代田牧場(静内田原)生産馬のホエールキャブチャ号が、1分32秒4のタイムで優勝を果たしました。

ホエールキャブチャ号は3、4番手の好位を進み、最後の直線半ば過ぎから抜け出し、2着馬を半馬身しりぞけて、見事1着でゴールイン。待望のGI初勝利を飾りました。



WINNERSスポーツ少年団優勝報告 5/7

4月28日~29日に釧路市で開かれた『ドリーム杯第12回未来小学生バレーボール全道フェスティバル』で、全道各地から63チームが出場した中、町内のWINNERSスポーツ少年団が見事優勝を飾り、役場静内庁舎を訪れ酒井町長に報告しました。

主将の山中彩莉さんは「全道から多くのチームが参加した中で、優勝はうれしく自信になった」と話し、酒井町長は「全道優勝は快挙。頑張った記憶は人間形成につながる」と優勝をたたえました。



みついし花だより共撰出荷 5/6

みついし花き振興会(道下潔会長)による『みついし花だより』の今シーズンの共撰出荷が、町花き集出荷施設で始まりました。

初日は、花き農家約20戸がデルフィニウムなど404箱を共撰出荷し、道内をはじめ、関東や関西方面の市場に送られました。

共撰による出荷は11月下旬まで続き、ピーク時には1日当たり2,000~3,500箱が道内外に出荷され、全国各地の方々の手元に届けられます。



消防フェスティバル 4/28

春の火災予防運動の一環として『消防フェスティバル』が日高中部消防組合消防署三石支署で開かれました。

来場した子どもたちは、実際に防火服を着用しての「放水チャレンジ」やロープを渡る「レスキューチャレンジ」、火災現場を想定した煙の中を脱出する「濃煙脱出チャレンジ」など、さまざまな消防体験に挑戦し、楽しみながら防火意識を高めました。



静内さくら祭りダンスパーティー 5/13

ソーシャルダンス睦会による『静内さくら祭りダンスパーティー』が町公民館で開かれ、日胆地区の社交ダンス愛好家約60人が参加し、交流を深めました。



さくら講演会 4/27

日本さくらの会の「桜守」に認定されている浅利政俊さんの講演会「日高三代桜の魅力と課題」が町公民館で開かれ、約30人が参加しました。



三石ことぶき大学開講式 4/26

町教育委員会による高齢者教室『三石ことぶき大学』の開講式がみついしふれあいプラザで開かれ、「私の生きがいの原点」と題した講演などが行われました。



社会教育カレンダー発行 4/25

町教育委員会は、町民の皆さんの学習活動に役立ててもらおうと、社会教育事業や学校行事などを記載した『まなびのカレンダー(第1号)』を発行しました。